

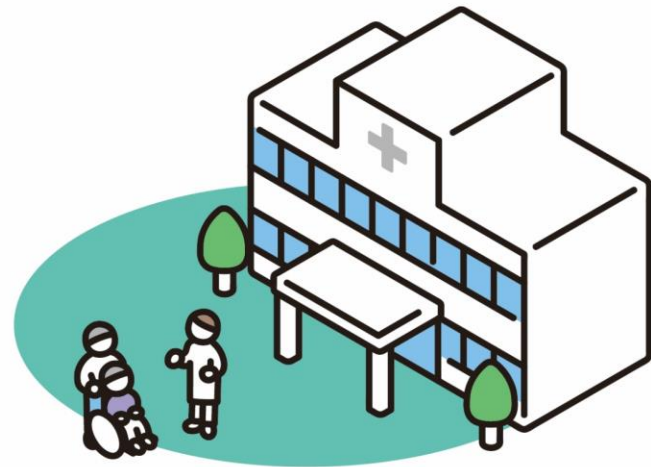
新中川病院の概要と紹介

令和6年2月24日(土)

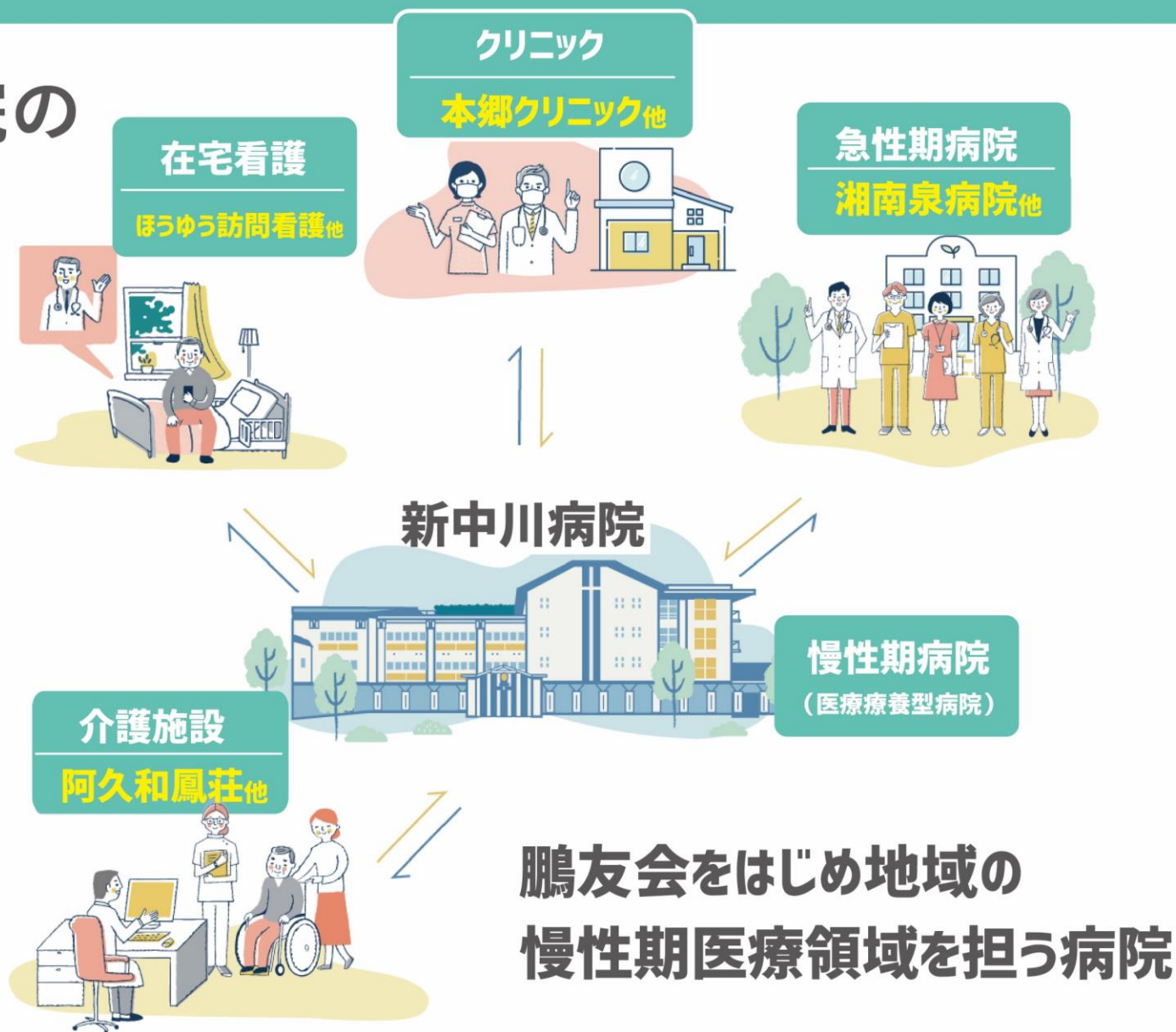
医療法人社団 鵬友会

新中川病院

事務部長 松田 隆



- 新中川病院の
位置付け



● 慢性期医療とは



定義	病気のなりはじめや、 症状の変化が激しく、 全身状態の安定しない時期	急性期を乗り越えた時期	症状が安定し、 後遺症などの症状が、 固定された時期
特徴	24 時間体制の 医療が必要	リハビリをおこない、 更なる状態の 回復を目指して 在宅復帰をする	再発や症状悪化を防ぐ 長期にわたり療養の 必要な患者が 入院治療を受ける

よこはまポジティブエイジング計画

について

令和6年2月24日(土)
医療法人社団 鵬友会
新中川病院
院長 福田 千文



計画期間 2024 年度-2026 年度

よこはま

ポジティブエイジング計画

～歳を重ねても自分らしく暮らせるまちを目指して～

(素 案)

第9期 横浜市 高齢者保健福祉計画

介護保険事業計画

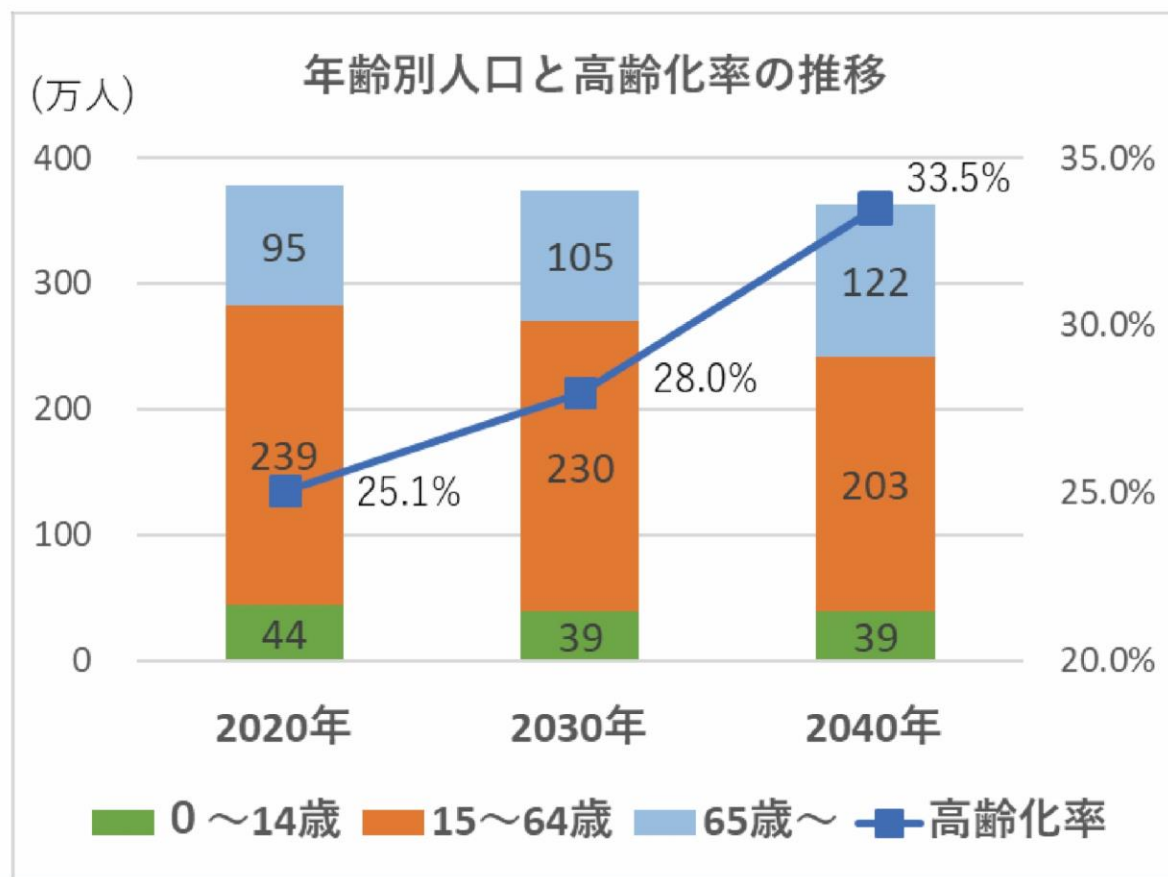
認知症施策推進計画

● 計画の目的

横浜市は今後 2040 年にまでに、85 歳以上人口が急速に増加することが見込まれ、医療・介護・生活支援などが必要になる市民が増大することが予想されます。横浜市では、これらの課題に対して『ポジティブエイジング』を基本目標とし、歳を重ねることをポジティブに捉え、高齢者の皆様がいつまでも自分らしい暮らしができる地域をつくりたい、という思いのもと、限られた社会資源の中で効率的・効果的な高齢者施策を実施し、老後に対する「不安」を「安心」に変えていきます。

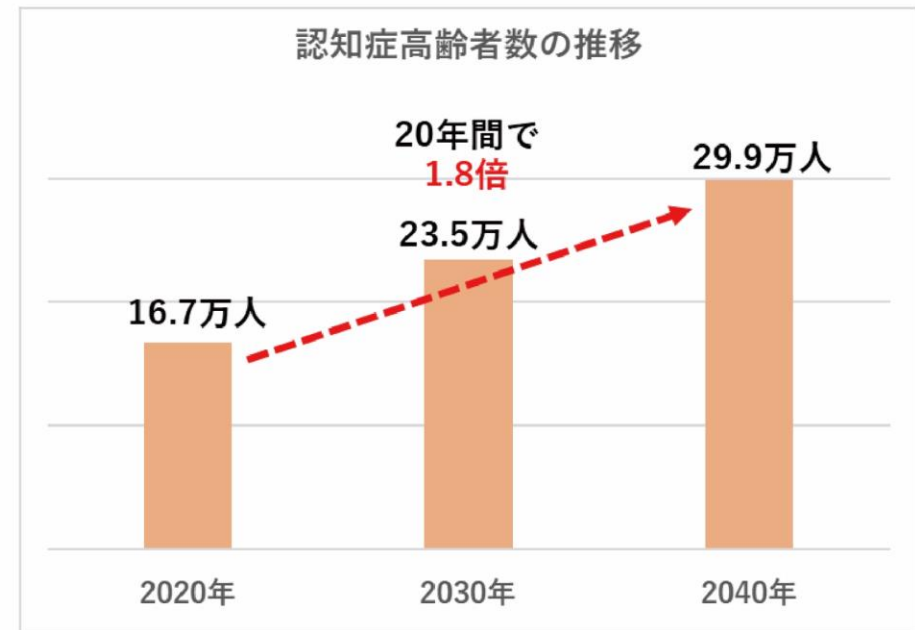
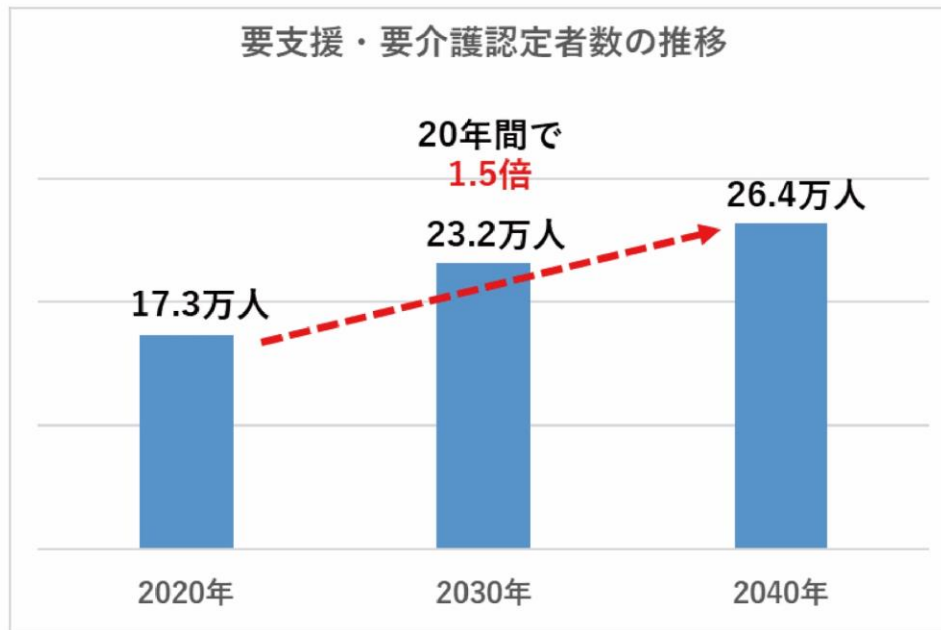
● 高齢者人口の増加

横浜市の高齢者人口は引き続き増加傾向であり、2040年には市内人口の3人に1人が高齢者になると推計されています。



- 要支援・要介護認定者数、認知症高齢者数の増加

高齢者人口の増加に伴い、要支援・要介護認定者数、認知症高齢者数ともに増加が予想され、2040 年にかけて医療・介護ニーズの急増が見込まれることから、介護サービスのさらなる充実が必要になります。



● 2025 年・2040 年を見据えた中長期的な将来像

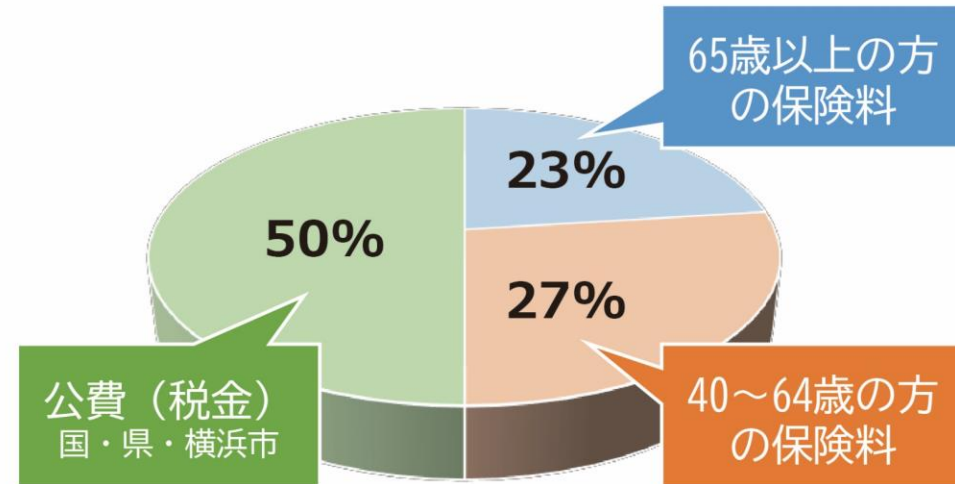
- 地域で支え合いながら、
- 医療・介護が必要になっても安心して生活でき、
- 高齢者が自らの意思で自分らしく生きることができる



● 介護保険料

社会全体で「介護保険」を支えています。

介護保険は、「公費」と、40 歳以上の方が納める「保険料」を財源として運営しています。介護保険料は、介護が必要な方の介護保険サービス費用などをまかなうために使われます。金額は、3 年間のサービスの給付額等の見込みに基づいて算定します



令和6年度～8年度の保険料基準額

第8期（令和3～5年度）
保険料基準月額
6,500円



第9期（令和6～8年度）
保険料基準月額
6,600円～6,700円程度

病院概要

病院長	末盛 彰一	看護部長	石川 崇子
病床数	156床(HCU8床、感染症対応病室4床、一人個室16床、二人個室4床)		
医療設備	手術室3室、80列マルチスライスCT、3テスラMRI、X線透視装置、超音波診断装置、上部・下部消化管内視鏡		
標榜診療科(予定)	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病内科、内分泌内科、血液内科、感染症内科、老年内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児科、婦人科、救急科、眼科、形成外科、整形外科、耳鼻咽喉科、精神科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科		
問合せ先	医療法人社団 鵬友会本部 045-810-0331 URL : http://www.hoyukai.org		



ゆめが丘総合病院
オープニングWebサイト



- 電車をご利用の方**
- 相鉄いずみ野線
ゆめが丘駅から徒歩1分
 - 横浜市営地下鉄
下飯田駅から徒歩3分
- バスをご利用の方**
- 神奈中バス(下05系統)
ゆめが丘駅入口から徒歩1分
- お車をご利用の方**
- 駐車場 有り

法人概要

法人名	医療法人社団 鵬友会	所在地	〒245-0009 神奈川県横浜市泉区新橋町1783番地
理事長	池島 秀明	電話	045-810-0331 FAX 045-810-0371
事業所	● 湘南泉病院 ● フジヤマ病院 ● 介護老人保健施設 阿久和鳳荘 ● ほうゆう保育園 ● 新中川病院 ● 本郷クリニック ● 介護老人保健施設 リバブルケア ● 横浜ほうゆう病院 ● ほうゆう訪問看護ステーション ● 介護老人保健施設 いかる野		



医療法人社団 鵬友会
ゆめが丘総合病院(仮称)

2024年
4月1日

進化する街 泉区ゆめが丘に 新病院誕生

外来診療科目の 充実

多岐にわたる外来科目を備えており、
患者様の状態に応じて専門の医師が
診療いたします。

医療機能の強化

高度急性期病床として
HCU(高度治療室)を備え、
24時間365日の救急医療を
提供します。



ご挨拶



病院長 末盛 彰一

略歴

1980年3月
広島大学医学部卒業
1991年7月
広島大学医学部第一内科助手
1996年12月
聖マリアンナ医科大学総合診療内科講師
2014年4月
湘南泉病院 院長
●専門 消化器内科



総病院長 幕内 博康

略歴

1970年3月
慶應義塾大学医学部卒業
2008年3月迄
東海大学医学部付属病院 病院長
2009年4月
学校法人東海大学 理事
2019年4月
学校法人東海大学 顧問
●専門 消化器外科

新たな街づくりが進む横浜市泉区ゆめが丘に、総合病院が開院します。駅前で利便性がよく、何かあったらすぐに受診できる、使い勝手のよい病院です。新病院は、24時間稼働している救急センターも併設し、最善かつ最新の医療を提供できる、患者さんに優しい病院を目指しています。地震、台風などの自然災害や感染症の流行にも対応できる設備を備え、地域の皆さまの安心・安全を担うだけでなく、各種のがんに対しても診断から治療まで一貫した最新の医療を提供いたします。また、地域の病院や診療所などと連携し、地域全体の医療・福祉の向上に貢献してまいります。地域住民の皆さま、通勤・通学でゆめが丘駅を利用される皆さまのお役に立てるよう、職員一同全力を尽くすべくお待ちしていますので、ぜひお気軽にご利用ください。

健診プラザ(仮称)



安心して受診できる健康・検診をめざして 地域の健康を担う健診センターを開設!!

病院併設の健診センターとして、企業健診や特定健診をはじめ、各種健診・検診を実施し、地域の皆さまの健康維持のため、疾病予防・早期発見・早期治療に取り組んでまいります。また、患者様の多様なライフスタイルに合わせて日曜日もオープンするほか、乳がん検診では痛みのないMRI検査を導入するなど、受診される方の負担の少ない、優しい健診・検診を実施できる設備を導入しています。

健診棟



連絡通路

待合室・エントランス

待合室やエントランスは明るく、開放感あふれるつくりとなっています。落ち着いた雰囲気の中で、リラックスして診察までのお時間をお過ごしいただけます。



1F

外来、救急初療室・処置室、相談室、検査室、放射線(一般、MRI、CT)、売店

病室

病室は圧迫感のない、ゆとりあるつくりとなっています。ゆったりとした空間で、安心して療養に専念することができます。



4F

5F

病棟



病院

ゆめが丘総合病院

3F

病棟(HCU8床)・手術室

2F

外来、内視鏡室、化学療法室、リハビリテーション室、検査室



ゆめが丘総合病院 健診プラザ

皆様の

ライフスタイルにあわせた 健康診断をご提案します

WEB対応 24時間予約可能

受診しやすい環境 駅前の健診専門施設



ゆめが丘駅前に開設予定の健診専門施設です。
日曜日も健診等を実施していますので、休日を利用した人間ドック・健康診断が受けられます。

女性の方への配慮 女性スタッフが対応



女性の方が安心してご受診いただけるよう、女性専用エリアに子宮がん・乳がん検査室を設置しております。

健康診断の ご相談 承ります

「何を受ければいいのかわからない?」「気になる病気を調べたい」……
ご不明な点についてお答えいたします。健診スタッフが皆様に寄り添って、健康診断のご相談をさせていただきます。

健康診断メニュー

- ◇特定健康診査(横浜市・協会けんぽ・その他健康保険組合)
 - ◇企業健診 ◇雇入時健康診断 ◇一般定期健康診断
 - ◇生活習慣病健診 ◇人間ドック ほか
- 健康保険組合・代行機関の契約が多数ございます。
ご不明な点については問合せください。



看護部理念・基本方針

私たちは、看護の力で、 地域の皆様のいのちと生活を支えます

1 看護専門職として、患者さんの「意思」を尊重した質の高い看護を提供します。

2 「生活者」としての人に対する理解を深め、総合的な判断力を有する看護師を育てます。

3 急性期医療を担う看護の専門職として、学び続ける看護師を育てます。

4 クリニカルラダーの活用により、看護師が意欲的にキャリアアップに取り組むことで、看護実践力の強化と看護の質の向上を図ります。

5 社会のニーズを的確に把握し、院内および院外のチーム活動を推進します。

6 地域の皆さまの健康と生活の支援活動を通して、地域の発展に貢献します。

7 看護職員ひとり一人が経営意識を高く持ち、健全な病院経営に参画します。



ゆめが丘総合病院の共育(きょういく)制度

コンセプト

組織ニーズと看護師ひとり一人の特性と目標にあわせた教育プログラムにより、ゆめが丘総合病院のチームの一員として活躍する看護職員を育成します。

新人看護師教育プログラム

急性期医療を担う看護専門職として自ら学び、主体的に看護実践ができる看護師へと成長するためのプログラムを用意しています。

充実した教育体制

- ・プリセプター制度
- ・院内研修プログラム
- ・e-learning の導入
- ・継続教育機関への進学支援

新人教育スケジュール

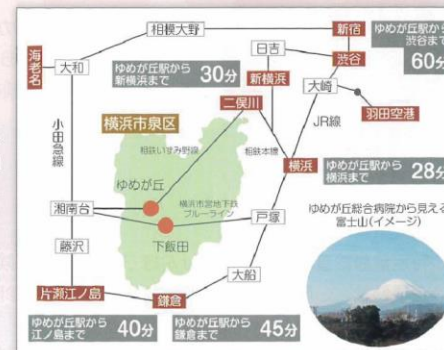


看護部長挨拶

大規模開発の只中にあるゆめが丘に、新しく「ゆめが丘総合病院」がオープンいたします。
相鉄線「ゆめが丘」とブルーライン「下飯田」の2駅からのアクセスが良く、病院の隣には大型ショッピングモールが建設されるなど利便性も高く、これからの発展が期待される地域です。私たち、新しい街を作っていく皆さまと共に街の一員になっていきたいと考えております。
地域のニーズに応えるという使命と役割を具体的にできるように、看護の力を集結し磨いていきたいと思っております。ゆめが丘総合病院に少しでも興味をお持ちの方は、いつでもお尋ね下さい。



看護部長 石川 崇子



職員募集 <http://www.hoyukai.org/yumegaoka/>



医療法人社団 鵬友会 市民公開講座

新中川病院における 終末期ケアについて



令和6年2月24日（土）

新中川病院 3A病棟師長 佐藤典子

「高齢者を支える病院」

～新中川病院に入院される方の特徴～

- 様々な事情で自宅や施設に戻れない医療度の高い患者さまが多い。
- ご高齢でほとんど寝たきりの患者さまが大半を占めている。
- 高齢の方の割合が増えてきている。
よって終末期を迎える患者さまの割合も多くなっている。



「人生の最終段階を迎える患者さま・御家族への医療・看護介護」
に携わる専門職として、「終末期ケア」や「看取り」の理解を深め、
苦痛の軽減・不安の緩和・その方が穏やかな最期を迎えられるよう
全職員が協働しています。

新中川病院 看護部の紹介

看護部長挨拶



安心・安全で信頼される看護

看護部長 三澤 利重子

当院は療養病棟と一般障害病棟の慢性期病棟です。

看護部の理念である「**安心・安全な看護で信頼される看護**」が提供できるよう、
継続教育と教育研修に力を入れています。

地域における社会貢献として看護学校や訪問看護の臨地実習を受けています。

また、介護職員の喀痰吸引等実施研修における神奈川県との協力病院でもあります。

目くばり、気くばり・心くばりをモットーに慈愛のある振る舞いで看護の質向上
に努めます。



看護部理念

1. 患者様の人権を尊重し、安心・安全な看護を提供します。
2. 豊かな人間性と知識・技術をもって、信頼される看護を提供します。

看護部基本方針

1. 地域の慢性期（医療療養）病院として、期待される看護を目指します。
2. 患者様の人権を尊重して、ベッドサイドケアの充実を行います。
3. 医療チームの一員として、責任と自覚をもち自己研鑽に努めます。

看護部・部署紹介

- ➡ **外来（1階）**：病院の窓口である外来、高齢者の方が多く来院されます。「お待たせしない」「思いやりのある安心安全な看護」「会話を大切に丁寧にゆっくりと」を心掛けています。
- ➡ **療養病棟（2階・3階）**：急性期病院や専門病院である程度の治療を終えて、引き続き医療行為が必要な患者さまに医療・看護・リハビリ等を行います。患者さまや御家族から「ここに入院して良かった」と思って頂ける看護を目指しています。
- ➡ **障害者施設等一般病棟（3階）**：厚生労働大臣が定める病名の患者さまが入院対象となります。重度の障害のある方（重度意識障害の方も含む）、神経難病等に罹患された患者さま、人工呼吸器管理が必要な患者さまが入院されています。スタッフは皆明るく活気があります。



私達が大切にしている取り組み

患者さまと御家族の気持ちに

寄り添った医療、看護介護の提供を！

- ➡ 患者さまが穏やかな表情・気持ちで過ごせる治療と関わり
- ➡ 気持ち良く療養生活を過ごしていただくための環境整備
(患者さまの身体を清潔に保つこと・清潔な環境の維持)
- ➡ 十分な知識と技術を背景に持つ【気づき】と【優しさ】
- ➡ 患者さま・御家族の希望を叶えられる環境づくり



患者さま・御家族とのコミュニケーション

スタッフカンファレンス、全職種でタッグを組むチーム医療が重要

療養病院ならではの充実したケア

検査・治療（発熱時など）
酸素投与（呼吸苦）
薬の調節（痛みなど）
辛くない苦しくないように

穏やかな気持ち

快適さ

= 高齢者の患者さまの尊厳を
保持するための日常生活上のケア

食事・経管栄養・点滴管理

毎日の口腔ケア、訪問歯科診療

疼痛ケア

褥瘡予防

体位交換・皮膚科診察

清潔保持

入浴・清拭

手浴・足浴

訪問理容

ベッドサイドケア

出来る限り患者様の傍らに



終末期の定義

終末期とは、**人生の最後を迎える前の時期**を指します。

- ➡ 複数の医師が客観的な情報を元に、治療により病気の回復が期待できないと判断すること
- ➡ 患者さまが意識や判断力を失った場合を除き、患者さま・家族・医師・看護師等の関係者が納得すること
- ➡ 患者さま・家族・医師・看護師等の関係者が死を予測した対応を考えること

全日本病院協会「終末期医療に関するガイドライン」

終末期の定義より抜粋

終末期ケアを受けられる場所



①病院（メリット）

急変時にすぐ医療を受けることが出来る
大部屋だと寂しい思いをしにくくなる
御家族の負担が減る（老々介護の限界・家庭や就業との両立が可能）
専門家が常に在籍しているので患者さま・御家族が不安を相談しやすい



②介護施設（メリット）

医師・看護師・介護スタッフが日常生活のサポートをしてくれる
着替えや排泄、移動など御家族への負担が減る
他の施設利用者と触れ合う機会が多い

ほうゆう訪問看護所長より
この後お話をさせていただきます

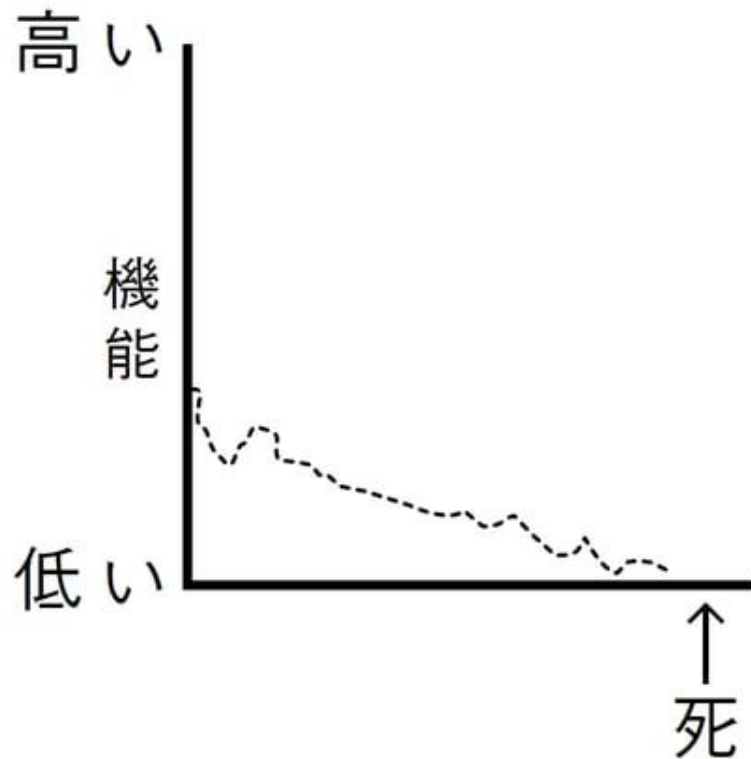


③自宅（メリット）

残りの時間を大切な家族と過ごすことが出来る
慣れ親しんだ家でリラックスして過ごすことが出来る
家族もすぐそばで様子を常にみていられることで安心して過ごせる

終末期から看取りまでの軌跡

認知症・老衰等



- 1) 高齢者の患者さまは複数の疾病や障害を併せ持つことが多く、また心理・社会的影響も受けやすいため、その「終末期」の経過は極めて多様です。そのため看取りに至るまでの余命予測は困難であり、「終末期の定義」に具体的期限を設けることはむずかしいです。
- 2) 高齢者の患者さまの死は
日々の生活の積み重ねの先に存在します。

日々の日常生活上のケアを丁寧に
行うことが、高齢者の患者さまの尊厳を
保持することにつながります。

終末期における看護ケア①

～高齢者の患者さまの尊厳を大切に～

姿勢への配慮
慢性的な疼痛の緩和
正確な観察力が必要！

苦しくない

心地よい

苦痛の緩和



食事・経管栄養・点滴管理

少量でも好物を堪能する

食べ物の香りを楽しむ

家族ケア

家族のつらさや悲しみの受け止め

清潔保持

入浴・整容

口腔ケアなど

ベッドサイドケア

患者様の気持ちを汲み取る手がかりとなる

終末期における看護ケア②

～御家族の気持ちに寄り添う～

《患者さまの死が近付くと》

- 反応が少なくなってくる
- 呼吸困難
- 手足の冷感・チアノーゼ
- 尿量の低下
- 脈の緊張が弱くなる
- 血圧の低下
 - 顔の相（顔色）の変化
 - 死前喘鳴
 - 眼球乾燥など

《御家族の気持ち》

「苦しくないように、辛くないようにして欲しい」
「覚悟しているが、この先どうなっていくのだろう」
「状態を教えて欲しい（知りたい）」
「そばにいたい・会いたい」
「何かしてあげられることはないか」
「万が一の時どのように行動したらいいかわからない」
「夜眠ることができません、何度も目が覚めます」
「家族を看取るのは初めての経験で不安」
「面会の度に私たちのことまで
気に掛けてくれてありがとう」
「〇〇をしてもらうことは可能か」
「面会に来る度痩せてきたので
最後に〇〇に会わせてあげられますか」



人生の最終段階に 苦しくなく辛くないを目指して

- ➡ 穏やかな表情（顔に緊張がない）
- ➡ 穏やかな呼吸（酸素投与で呼吸苦を緩和）
- ➡ 身体力が抜けている
（リラックスしている・体に緊張感がない）
- ➡ 御家族の問いかけに応じてくれた（応じようとした）
- ➡ 満足げな表情をしてくる
- ➡ 気持ちよさそうに寝ている（安心した表情）

御家族にも満足してもらえる 終末期ケアと看取りについて ～家族ケアとグリーフケアが重要～

- 面会規則があったが会いたい人に会わせてもらえた。
- 息を引き取る時に立ち合え感謝の気持ちが伝えられた。
- 面会後に亡くなった。家族にあって安心したのかな。
今朝電話をもらえてありがたかった。
- 家族の希望を看護師さん達が大切にしてくれて嬉しかった。
(最後の桜を見せてあげたい、ビールを飲ませてあげたい)
- いつ面会に来ても身綺麗で穏やかな表情をしていた。
- 経過を見てきたので心構えが出来たし「万が一の時」の説明
をしてもらって家族で話し合って準備が出来ました。
- 面会の度に説明をしてくれて (もしくは話を聞いてくれて)
安心することが出来た。労いの言葉も力になった。



終末期の患者さま・御家族へのケアを チーム医療で支えます！



- 治療や検査：医師・検査技師・放射線技師
- 終末期ケア：看護・介護職員
- 安楽な体位の工夫・拘縮予防：理学療法士
- 栄養・輸液管理について：栄養士・薬剤師
- 保清・面会ご案内など：総務課・秘書課
- 申請・悩み相談：医事課・相談員（社会福祉士）

患者さま・御家族の「不安を安心へ」 毎日穏やかな療養生活を送ってもらうために

老いと死は、誰にでも平等に訪れる宿命です
～瀬戸内寂聴～



「気配り・目配り・思いやり」をモットーに、
患者さま・御家族のお役に立てますように努力してまいります。
御清聴ありがとうございました。

終末期支援における 訪問看護の役割

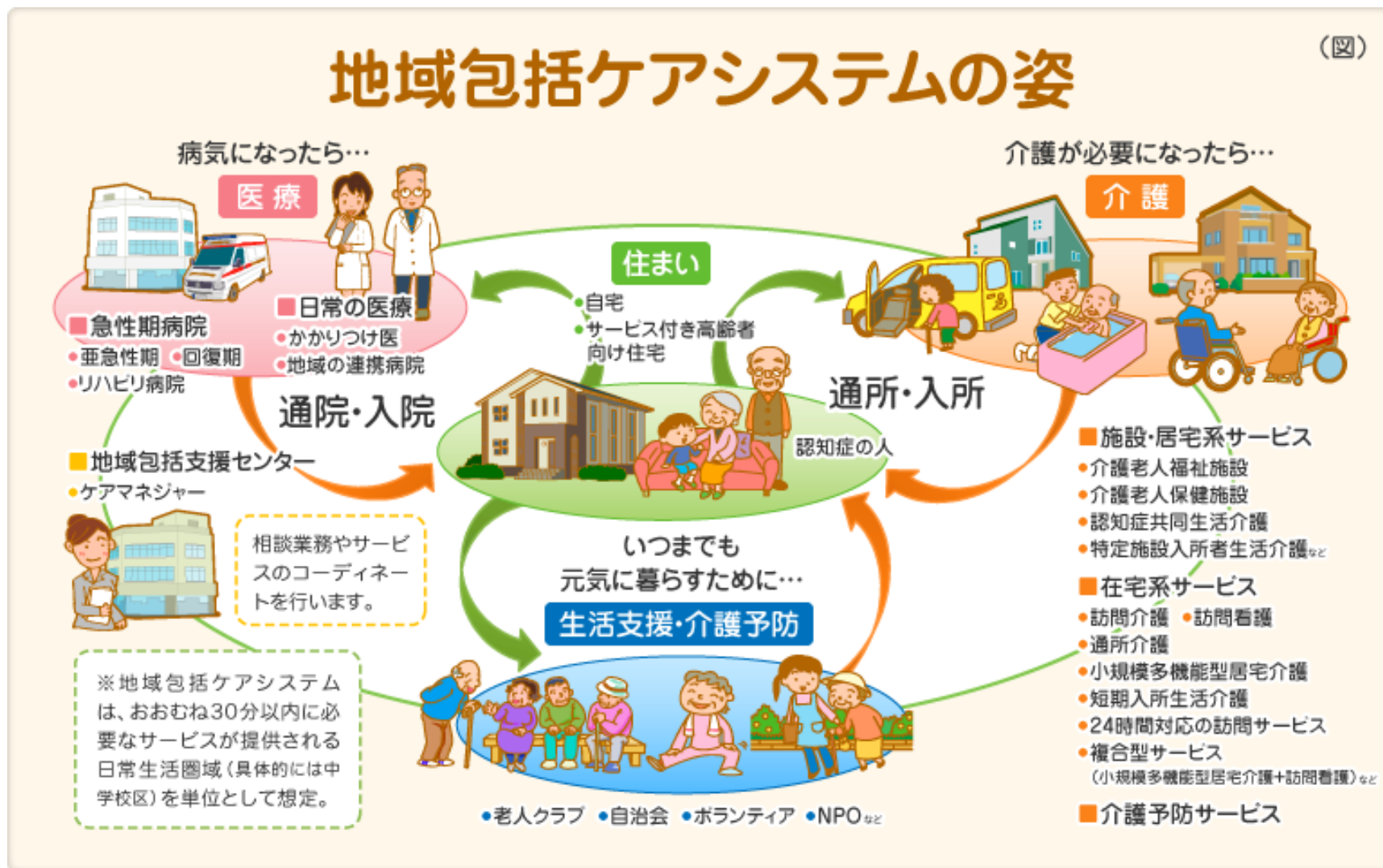
ほうゆう訪問看護ステーション
所長 北澤 章江

ほうゆう訪問看護ステーションの紹介

- ▶ 平成9年9月 開設
- ▶ 訪問看護師 9名 理学療法士 5名
- ▶ 訪問区域 横浜市泉区 旭区 瀬谷区 戸塚区一部

訪問経験の長いスタッフが多く在籍しており、
【元気で明るい訪問】をモットーに、住み慣れた自宅で
安心して生活が送れるよう、様々な職種とチームを
組んで在宅支援しています。

地域包括ケアシステムについて



- ▶ 国が推進している取り組みです。
- ▶ 医療も介護も地域の住民も一緒になっていい地域を連携して作っていこうという取り組みです。
- ▶ 訪問看護師は、多職種を結び、医療依存度が高い高齢者の在宅支援を支える重要な役割を果たしています。

在宅医療の提供体制に求められる機能

- ①退院支援
- ②日常の療養支援
- ③急変時の対応
- ④看取り

訪問看護は医療、介護をつなぐ重要な役割を担っていると言えます

在宅療養のメリット

- ▶ 住み慣れた自宅で、家族と一緒に時間を過ごしたり、ご自分のペースで療養を行うことができます。
- ▶ 支援するために、さまざまな保健、医療、福祉サービスがあります。

こんな不安がある時は...

- ▶ お薬の自己管理が難しい
- ▶ 食事の量が減った、体調が優れない日が続いている
- ▶ 床ずれがあるが、どうケアしたらいいかわからない
- ▶ 入退院を繰り返している
- ▶ 医療機器や処置が必要な生活になった
- ▶ 認知症、難病、がんの終末期と診断された
- ▶ 介護が必要な状態になった など

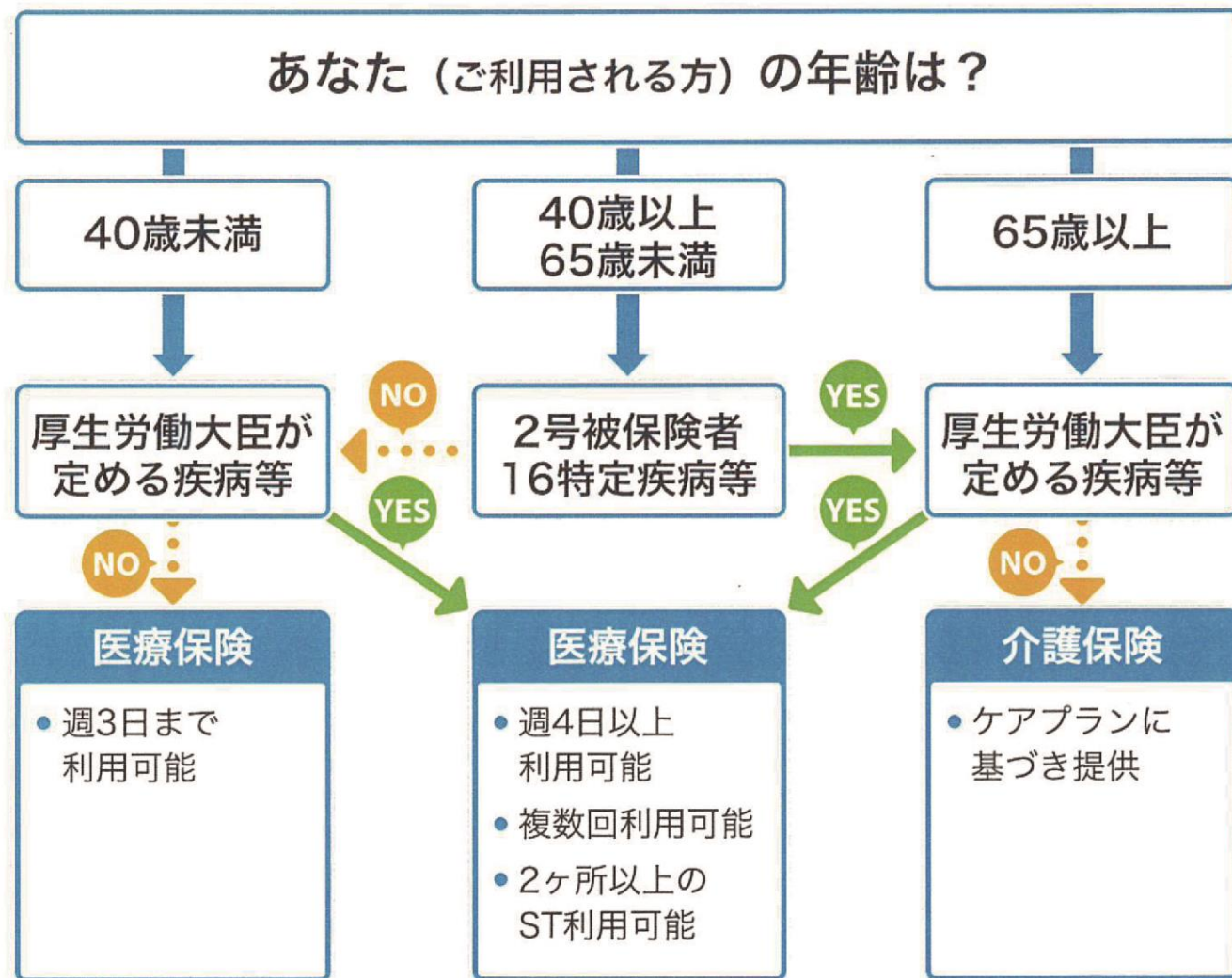
訪問看護って
どんなことをしてくれますか？



訪問看護を受けるには 誰に相談したらいいか

- ▶ 受診している医療機関、訪問看護ステーション、お住いの市区町村役所、地域包括支援センターなど、各機関でご相談にのっています

訪問看護における 介護保険と医療保険の違いについて



終末期をどこで どのように迎えたいですか

- ▶ 最期まで自宅で過ごしたい
- ▶ 自分で動けなくなったら施設に行きたい
- ▶ 手助けがあれば自宅で過ごしたい
- ▶ 病院のほうが安心

など、思いはいろいろあると思います。

自宅で最期まで過ごすことを可能にする には

- ▶ ご本人が自宅で過ごすことを強く希望していること
- ▶ キーパーソン（ご家族・介護者）がしっかりしており、
協力者がいること
- ▶ ご本人・ご家族に寄り添ったサポート体制が
整っていること
- ▶ 医師の理解と協力が得られ、信頼関係が築けていること

などがあります

病気と
つきあいながら

生活を支えるための サポート体制

地域包括支援センター

保健センター・保健所

- ・ 各種難病対策
- ・ 訪問指導

かかりつけ
主治医

病院
医師・看護師
連携室担当者
など

訪問診療

薬にJ服地

ご本人

介護者

ケアマネジャー

ケアプラン作成

訪問看護師

訪問看護計画作成

訪問看護

看護師の観察力が
ものをいいます

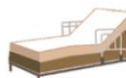
今日のAさんの
様子ですが...

医師と訪問看護師の
連携によるフォロー

サービス事業者



通所介護



補助用具



ヘルパー



入浴サービス 等

看取りにおける訪問看護師の役割

- ▶ ご本人が苦痛なく安心して自宅で過ごせ、ご家族が後悔なく看取れるよう支援していくこと
- ▶ ご本人・ご家族の揺れ動く心にもしっかりと寄り添うこと

「臨終の場はどこであろうと、真剣に考えた結果であればそのすべてが正しい」

ご本人・ご家族の生き方や価値観などを大切にしながら支援することが大切と考えています

私たちができること

住み慣れた地域や自宅で、自分らしく安心して暮らせるよう、多職種と協働し、看護の専門的な目で支援していきたいと思います。

ちょっとしたことでも、何かありましたら、ぜひほうゆう訪問看護ステーションにご相談ください。

ご清聴ありがとうございました。